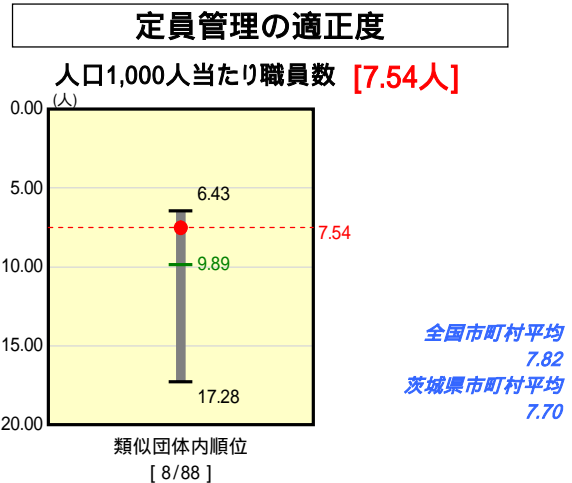
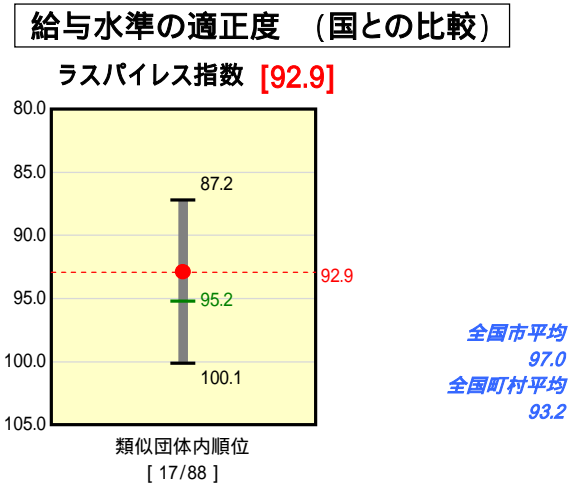
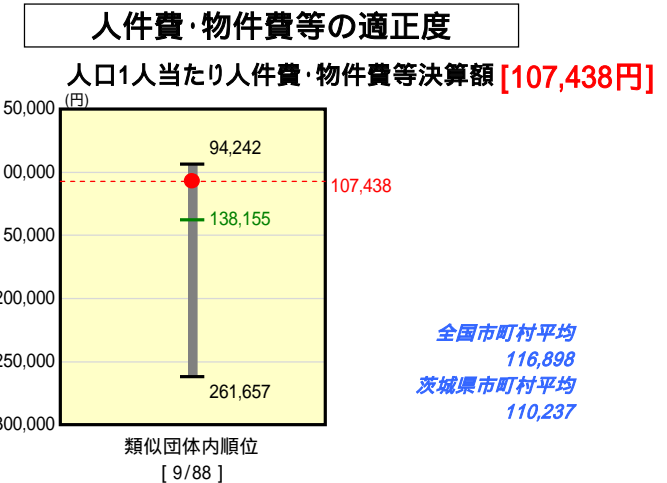
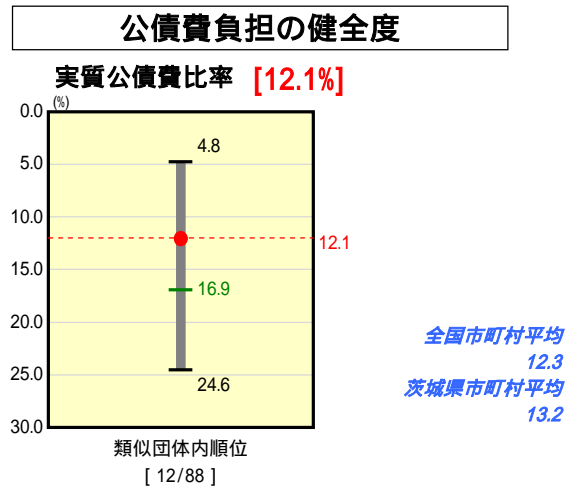
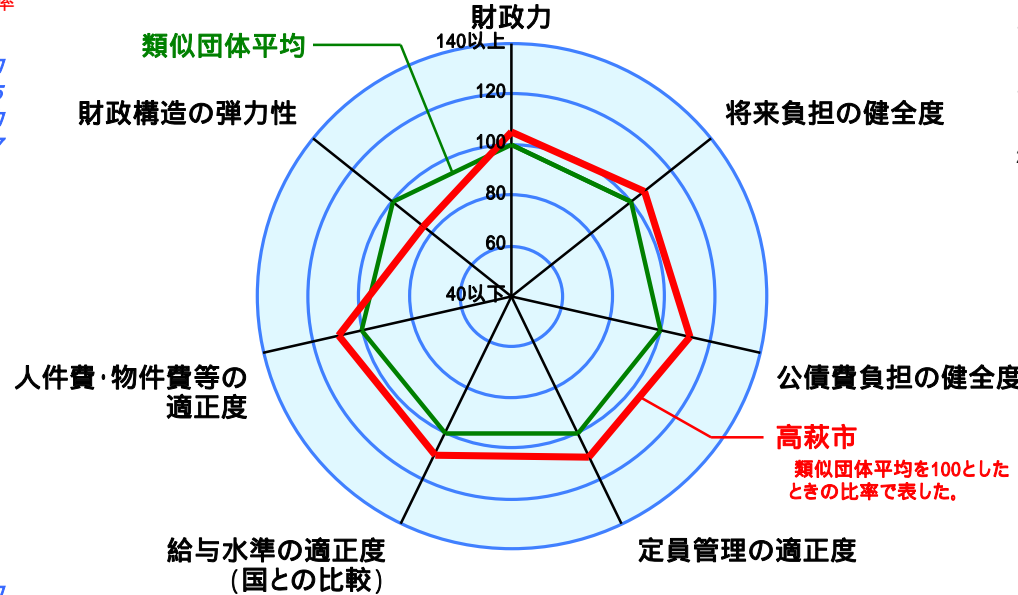
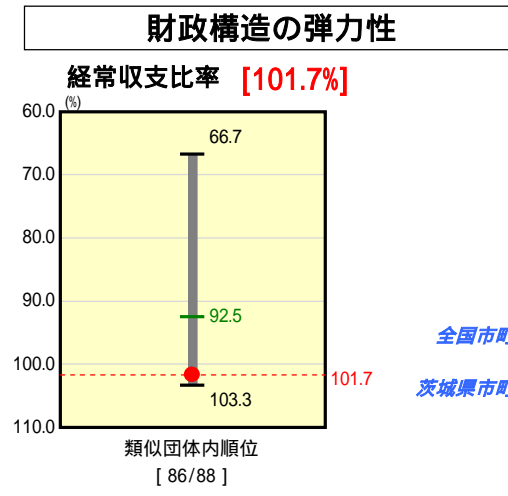
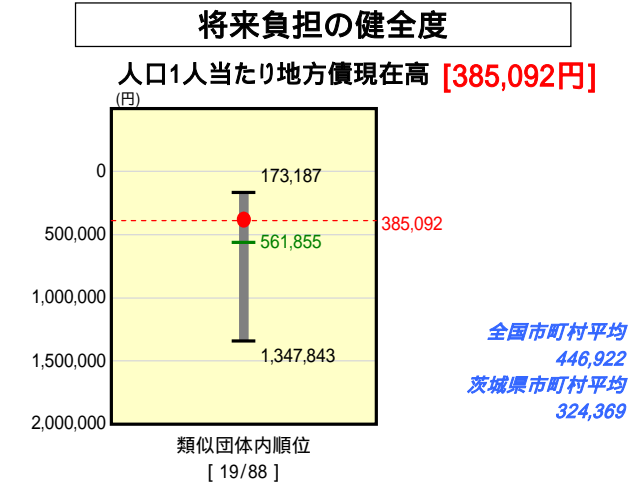
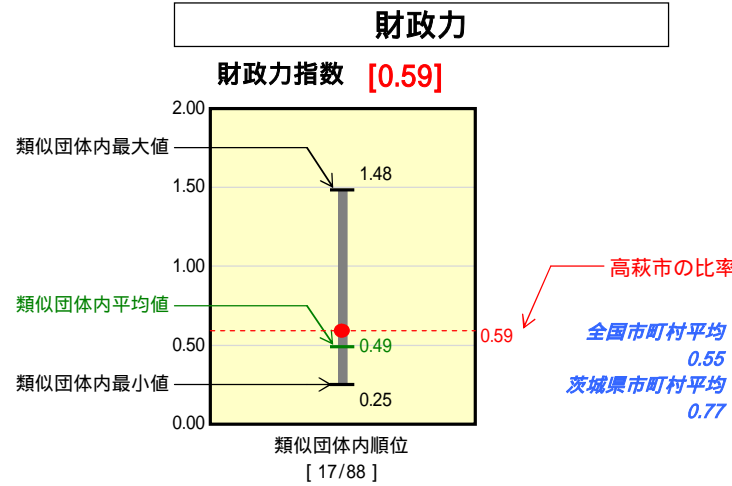


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県 高萩市

人口	32,743 人	(H20.3.31現在)
面積	193.65 km ²	
歳入総額	11,914,896 千円	
歳出総額	11,516,483 千円	
実質収支	395,432 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
前年比0.02ポイント上昇し、類似団体平均を0.10ポイント上回っているものの、土地開発公社・住宅公社の債務を計画的に解消する必要があるため、行財政健全化計画(平成20～23年度)を策定し、職員数の削減(60人、20%超)、及び給与カットによる人件費の圧縮、事務事業のゼロベース見直しによる事業の「選択と集中」等により、抜本的な行財政改革を断行していく。

【経常収支比率】
人件費の圧縮、事務事業の「選択と集中」により経常経費の削減に努めているが、経常一財が大幅に減少(529百万、6.7%)したため、前年比4.3%上昇した。類似団体平均と比較しても9.2%と大きく上回り、茨城県内においては唯一100%を超える団体となった。今後も経常一財の減少が見込まれるが、行財政健全化計画(平成20～23年度)を着実に推進し、更なる経費削減を図り、経常収支比率が早期に90%前半となるように努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均と比較して、人口1人当たり人件費・物件費等決算額が低いのは、消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金を合計した場合でも茨城県内市町村平均は上回るものの、類似団体平均は下回っている。今後も各施設の管理運営等の委託化を進めることにより、更なるコスト低減に努める。

【ラスパイレス指数】
現在、茨城県内市町村では最低水準で、類似団体との比較でも低い水準に位置している。極めて厳しい財政状況のため、更に給与カットや各種手当の見直しを行い、人件費の圧縮に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均を下回っているが、今後、土地開発公社経営健全化支援や松岡小学校校舎改築といった大規模事業により新規地方債発行となる見込みであるため、他事業における地方債発行を抑制する。

【実質公債費比率】
投資事業の圧縮等により、類似団体平均を下回っているが、土地開発公社経営健全化支援事業や松岡小学校校舎改築事業の実施により今後は上昇傾向にあるため、その他の投資事業を抑制し急激な上昇を抑える。

【人口1,000人当たり職員数】
近年の危機的な財政状況打開のため、平成13～15年度の退職に伴う新規採用を見送り、33人(15.6%)と、大幅な削減を実現した。類似団体の中でも少ない職員数であるが、平成19～25年度で60人削減(20%超)を目標に、更に大幅な人件費削減に努める。